

## 第3四半期（2025年10～12月）景況動向分析 結果報告書

和束町商工会

### 1. 調査概要

本調査は、和束町商工会が実施する経営発達支援事業の一環として、2025年10月から12月にかけて実施したものである。町内の農業、茶製造業、卸売業、小売業、飲食・宿泊業、建設業、自動車整備業、電気工事業など複数の事業所から回答を得て、地域経済の動向を把握することを目的としている。

### 2. 売上高の動向（前年同期比）

売上高については、農業・茶製造業・卸売業・飲食業・小売業・宿泊業・製造業・農機具販売業で増加が多く、全体として堅調な推移となった。一方、一部の小売業・飲食業・建設業では減少が見られ、業種によって明暗が分かれる結果となった。

### 3. 販売数量の動向

販売数量は、農業・茶製造業・飲食業・小売業・宿泊業などで増加が見られた。観光需要や消費回復の影響がうかがえる。一方、建設業や一部の飲食業では減少が続き、需要の戻りに業種差がみられた。

### 4. 売上単価の動向

売上単価は多くの業種で上昇した。原材料高騰に伴う価格転嫁や付加価値化が進んでいるためである。一方、小売業や一部の飲食業では単価据え置きが続き、価格調整の難しさが残る。

### 5. 原材料・仕入単価の動向

原材料・仕入単価はほぼ全業種で上昇した。食材、仕入商品、資材などの価格上昇が続き、コスト増が経営を圧迫している。特に飲食業・小売業・建設業で影響が大きい。

### 6. 採算（経常利益）の動向

採算については、農業・茶製造業・飲食業・小売業・宿泊業・製造業・農機具販売業で好転が見られた。売上増加が利益改善につながっている。一方、建設業や一部の飲食業、電気工事業では採算が悪化し、原価上昇を吸収しきれていない。

### 7. 資金繰りの動向

資金繰りは「好調」または「不変」が大半を占め、急激な悪化は見られなかった。一部の飲食業・建設業では「不調」が見られたものの、全体としては安定した状況が続いている。

### 8. 今後3ヶ月の見通し（令和8年1～3月）

今後の見通しについては、売上・数量ともに「横ばい」予測が最も多く、慎重な経営姿勢が続いている。原材料単価は全業種で上昇見込みが強く、コスト増が継続すると予測される。採算・資金繰りは「不変」が中心で、大きな改善は見込まれていない。

### 9. 経営課題（業種横断）

多くの事業所で共通して挙げられた課題は、既存販路の強化、新規販路開拓、業務効率化、ITの利活用、人材確保であった。業種別では、建設業・農業・自動車整備業で人材確保、飲食業でPR・知名度向上、小売業で製品改善や販路強化のニーズが強い。

#### **10. 求める支援策（業種横断）**

求める支援策としては、既存販路支援、新規販路開拓、人材確保、業務効率化、IT活用支援が多かった。小売業・飲食業では販路開拓、建設業・農業では人材確保の要望が目立つ。

#### **11. 総括**

第3四半期は、農業・茶製造業・卸売業・飲食業・小売業を中心に売上・数量・単価が増加し、全体として堅調な推移となった。一方で、原材料高騰や人材不足は依然として大きな課題であり、業種間の差も拡大している。今後も慎重な経営姿勢が続くと見込まれ、商工会には販路開拓、業務効率化、人材確保支援が求められている。